

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌テーマ
「今、いのちがあなたを生きている」

公開講演会・シンポジウム

人間すがたといういのちの相

生老病死

人はだれも、生まれ、老い、病み、死んでいく……。

人は生まれた瞬間から何一つ思いどおりにいかない人生を歩みはじめます。仏教は、そんな人間の深い苦悩から生まれ、いつの時代でも苦悩する人間を照らし、受けとめてきました。全四回で開催する本講演会・シンポジウムでは、人間の苦悩と向き合ってきた人々の言葉聞き、人間の身の事実である「生老病死」を東本願寺で見つめたいと思います。

2011年9/25日 13:00~15:45

「老いといういのちの相」老

【講演者】



鷺田 清一氏 (わしだ きよかず)

1949年生まれ。大阪大学総長。哲学者。現象学・身体論からファッションまでその著作は多岐にわたる。東本願寺出版部の月刊誌『同朋』にエッセイ「そぞろ歩き」を連載中。著書に『老いの空白』（弘文堂）、『〈弱さ〉のちから』（講談社）など。

【パネリスト】



小沢 牧子氏 (おざわ まきこ)

1937年生まれ。和光大学非常勤講師として長年臨床心理学を論じた後、現在は、フリーの研究・著述業を営む。著書に『「心の専門家」はいらない』（洋泉社新書）、『子どもの場所から』（小澤昔ばなし研究所）、『「心の時代」と教育』（青土社）、『心理学は子どもの味方か?』（古今社）など。

【パネリスト】



藤川 幸之助氏 (ふじかわ こうのすけ)

1962年生まれ。詩人、児童文学作家。小学校の教師を経て、現在は詩作と文筆活動に。認知症の母親に寄り添いながら、いのちや認知症を題材に作品を作り続ける。著書に『満月の夜、母を施設に置いて』『まなざしかいご〜認知症の母と 言葉をこえて 向かいあうとき〜』（中央法規出版）、『マザー』（ポプラ社）、『やわらかなまっすぐ』（PHP出版）など。

【コーディネーター】 浅野 玄誠氏 (あさの げんせい) (同朋大学教授)

※講演者はパネリストも兼ねています。

絶賛発売中

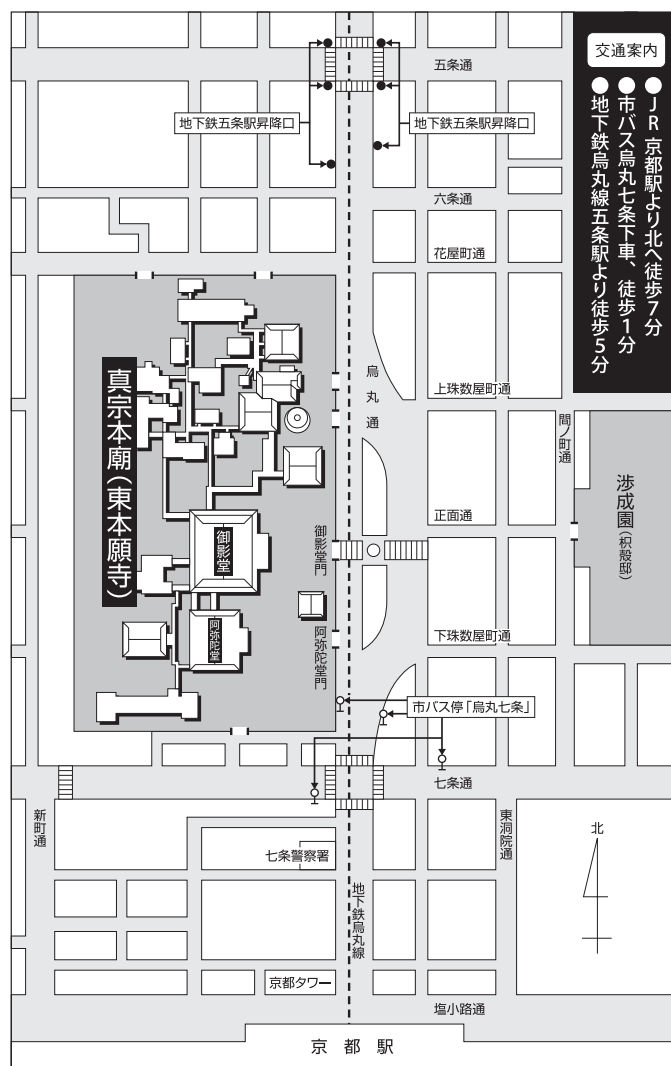
『人間といういのちの相』第1~4巻。本講演会の講演者・パネリストのインタビューも収められています。お求めは東本願寺境内にある総合案内所、またはインターネット販売サイト「TOMOぶっく」(<http://books.higashihonganji.or.jp>)まで。

お問い合わせ先

東本願寺 研修部「御遠忌テーマ公開講演会・シンポジウム」係

〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る TEL.075-371-9185

東本願寺ホームページ <http://www.higashihonganji.or.jp>



※自家用車の駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

主催＝東本願寺(真宗大谷派)

後援＝京都新聞社、真宗大谷派学校連合会、第26回国民文化祭京都府実行委員会、中日新聞社、北國新聞社、読売新聞京都総局、龍谷大学人間・科学・宗教オープンリサーチセンター、KBS京都(五十音順)

【注意事項】

■境内・堂内での飲食はご遠慮ください。■境内・堂内では禁煙となっておりますので、喫煙は所定の場所をお願いします。■特に公開講演会・シンポジウム中は、話し声、携帯電話の着信音や会話、無理な移動など、他の方の迷惑となる行為はお控えください。■その他、会場係員の指示に従ってください。※予告なしに内容を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

※公開講演会・シンポジウム「第1回 人間といういのちに生まれて」
「第3回 病いといういのちの相」「第4回 死といういのちの相」は終了いたしました。

